

「ビックデータ時代の EHR と医療情報標準化の動向」

アーキタイプ研究会 小林 慎治(愛媛大学)

日本では医療情報システムが普及し、レセプトオンライン化もほぼ達成され、標準規格に基づいた地域での診療情報共有が各地で拡大しつつあります。一方で欧州を中心に国家レベルで国民の健康に関するすべての情報を一生涯にわたって記録していく EHR(Electronic Health Record)の実現に向けての取り組みも始まっています。国家的 EHR では、蓄積されたデータを元に医療の質を評価したり、疫学調査に役立てていったりすることが明確に目標とされています。つまり、医療におけるビッグデータ活用こそが、EHR 構築の究極の目標であるといえます。本セミナーでは、米国における EHR 構築の中心人物であるハーバード大学 John Halamka 先生をはじめ、ブラジル、ニュージーランドから講師をお招きして下記のように最新の EHR 事情とその背景にある医療情報標準化、診療情報モデルの作成といった話題を提供していただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

主催：アーキタイプ研究会、京都大学 EHR 共同研究講座 共催

日時：2013 年 7 月 8 日 14 時から 17 時まで(13 時開場)

場所：京都大学東京オフィス（東京都港区港南 2-15-1 品川インターシティ A 棟 27 階）

アクセスマップ <http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office/about/access.htm>

会費：一般 15,000 円（医療機関・公共機関、あるいは学術機関所属の方は 5,000 円）

申し込み:別紙に記入の上、6 月中に下記の問い合わせ先までご連絡ください。当日の参加申し込みも受け付けますが、定員(約 100 名)となり次第締め切らせていただきます。

問い合わせ・申し込み先：アーキタイプ研究会「最新 EHR セミナー事務局」

e-mail: ehrseminar@openehr.jp

演題：

- 1)日本における EHR の実装状況について 京都大学 EHR 共同研究講座 吉原博幸
- 2)北米の EHR 事情・John Halamka, Harvard University
- 3)国家的 EHR に向けての New Zealand での取り組みについて・Koray Atalag, MD, PhD, FACHI, Senior Research Fellow, School of Population Health, The University of Auckland
- 4)ブラジルの国家 EHR(RES-SUS)について・Jussara Röttsch, MD MS, Director , openEHR foundation, lead coordinator of governance of archetypes, Brazilian Association of Health informatics

*2,3,4 は英語での発表ですが逐次通訳がはいります。

以上

◆ 最新 EHR セミナー 参加申込み

-----< 以下を 電子メールで送信下さい >-----

最新 EHR セミナー事務局 宛

最新 EHR セミナーへの参加を申し込みます。

- ・ ご所属：
- ・ ご氏名：
- ・ 連絡先電話番号：
- ・ メールアドレス：

※複数名参加の場合は氏名を人数分ご記入下さい。